

労働の場

生活介護事業所『小さき群の里』

定員40名 開設2009年4月

【経過】

入所更生施設「小さき群の里」は1980年に開設し、生活の場と労働の場を中心に32年間に亘り支援を続けてきました。その間、社会的自立が可能な方たちを一般事業所、通所施設等あるいは自宅やグループホーム等などに送り出し、生活の場を少人数化・小規模化を図ってきました。

2009年4月に新しいサービス体系への移行と同時に入所更生施設としての役割を終え、日中活動の生活介護事業所「小さき群の里」と生活の場の共同生活介護事業所「ののさわ」として新たな歩みを始めました。

生活介護事業所「小さき群の里」では、利用者一人ひとりの特性を活かせるように、自然環境を活かした作業やリサイクルなど労働の場や活動の場を保障しています。また、加齢と共に身体機能の低下が顕著に見られてきた利用者の方々のリハビリや運動保障の充実を目指し、土曜日の稼働日には健康体操やピクニック、旅行などの余暇活動も行っています。

【現況】

40名が7ヶ所での作業科を利用しています。(ボランティア大歓迎)

- ・農場 : 無農薬野菜約30種類を作り、手作り味噌は外販も行います。
- ・食彩工房カナ : 農場の野菜や畜産科の豚肉等を利用した弁当作りと惣菜作り
- ・畜産ノア養豚部門 : 自家配合飼料作りと豚の放牧飼育。

「奥中山高原放牧豚」として製品加工販売。

薪部門 : 羊や鶏の飼育と廃材を利用した薪づくりと販売。

自然の恵みを活かした草木染め作業。

- ・ひつじ工房アドナイ・エレ

羊毛部門 : 羊の放牧飼育、毛刈り。刈り取った羊毛を活かした製品加工、販売。

(マット作り、糸紡ぎ、織り、草木染め)

展示会やワークショップの企画を通じた地域交流。

紙漉き部門 : 牛乳パックの再生紙作りと製品加工。

- ・エフラテ : 地域の空き缶回収と選別プレス作業とリサイクル業者への販売。

2011年度からは、新たな作業開拓としてハウスでの果物栽培開始。

